

稲作情報

★更なる『品質向上』へ

日本一のブランド米「魚沼産コシヒカリ」は高品質・良食味があたりまえです。安定した品質を継続するためにも基本技術を徹底し、高品質米を目指しましょう。高品質米生産には稲の生育に合わせた管理が重要で、これには生育状況をきちんと

主要元肥銘柄の窒素量

品名	規格	窒素成分%	内化学窒素%	1袋あたり窒素量kg	内化学窒素量kg
越後の輝き有機50元肥	20kg	10	4.9	2.0	1.0
越後の輝き有機50スーパー元肥	20kg	12	5.9	2.4	1.18
有機50ニューフレーザー10	20kg	10	4.9	2.0	0.98

※この表を参考に10aあたりの化学窒素量をつかみましょう。

と把握する必要があります。生育調査とそれをふまえた細やかな栽培管理で品質を高く安定させましょう。

●暖かい日に田植を

田植をした後は、植え傷みせず、すみやかに新根が発生して根付き、生長を開始するのが望ましい状態です。天気予報などを参考に暖かい日を選んで行いましょう。

植込みは60株を基本とし、極端な疎植はやめましょう。一株当たり本数を3〜4本としましょう。植込みが多いと茎が細くなり、倒伏や除青未熟粒・青未熟粒などが発生しやすくなり品質低下につながります。

●初期生育には

水管理が重要

初期生育の促進には、田植後の水管理が大きく影響します。低温や強風から稲を守り、早く活着させて順調に生育させるために、次のポイントに注意しましょう。

雑草の生育状況にあわせて使用しましょう。

代かきから田植までの期間はなるべく短くし、田植後に一発処理剤を散布します。

農薬散布後、止水7日間を必ず守ってください。

また、部分的に田面が低く深水になると、下葉が枯れたり生育抑制などの被害が生じる場合がありますので、田面を均平にするよう心がけましょう。

近年、ジャンボ剤の使用が多くなってきました。拡散性に優れているため少々のまきムラがあっても効果は期待できます。ただし効果を安定させるためには、粒剤を散布する時よりも多めに水を張り（5〜6程程度）散布を行いましょ。●公道での土落下に注意 作業後は、田畑の乗入口でタイヤ・クローラに付着した土の除去を行い、交通事故の発生を防ぎましょう。



①移植直後は、やや深水で保温的な水管理をしてください。水温、気温が高いほど発根、活着が早く、分けつが発生も早くなります。漏水防止と水温上昇に努めてください。

②活着後は2〜3程の浅水とし、時々水を更新します。ただし、強風時や寒い日にはやや深水にして保温してください。

●効果の上がる

除草剤処理を

除草剤は、種類によって使用時期や使用方法が異なります。容器や包装に記載されている事項を確認し、

稲作 情報



水稻除草剤の効果をもとめるためには

- ①水管理（水持ち）が一番大切です。フロアブル剤やジャンボ剤は影響を受けやすいので注意しましょう。
- ②除草剤や雑草の種類により、殺草限界に違いがあるので、散布時期に注意しましょう。
- ③ていねいな代かきにより田面の均平を図り、畔ぬり等により漏水を防ぎましょう。
- ④代かきはできるだけ田植時期に近づけましょう。

◎除草剤散布前の適正な管理で効果を最大限に発揮させましょう。

主な除草剤の使用基準

(1) 初期除草剤

除草剤名	成分数	10a当り 使用量	使用時期	備考
メテオ1キロ粒剤	1	1 kg	植代後～移植前7日まで 移植直後～ノビエ1.0葉	移植後30日まで
ソルネット1キロ粒剤	1			

(2) 一発除草剤

除草剤名	成分数	10a当り 使用量	使用時期	備考
ゼータタイガー1キロ粒剤	3	1 kg	移植時・移植直後～ノビエ3.0葉	但し移植後30日まで
アップレZ1キロ粒剤	3			
ウィナー1キロ粒剤51	3		移植時・移植直後～ノビエ2.5葉	

※剤型につきましては、肥料農薬予約申込書を参照願います。

★農薬の使用は登録内容を必ず確認し正しく使用しましょう。

安全・安心『おぢや米』栽培管理日誌の記帳徹底を！

- 生産された『おぢや米』の安全・安心を確認・証明するために必要な資料になりますので、栽培管理日誌への記帳徹底をお願いします。
- 提出いただけない場合は米、粳の受入は原則できませんので、ご注意をお願いします。

6月の外務活動時に栽培管理日誌①を回収に伺います。